

雨天、アジア・アフリカ救援米運動を再認識

れんごう中越地協

第691号 2010.10.1
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定 価 1部10円



猛暑が影響し、バケツ稲は姿なし

大人・子ども総勢67名が、クイズで稲作・米文化の奥の深さを認識



実りの秋を向えた9月20日(祝)高島町の田んぼで、アジア・アフリカ救援米運動が行われた。あいにく雨天で、手刈り体験は出来ず、米についての学習クイズで大人・子ども総勢67名がペンを持って、稲作・米文化の奥の深さを学習。認識を新たにしたい。

高島町で11年目を迎えた矢尾板さんの田んぼに67名が集った。猛暑から一転、どんよりと雨雲に覆われ、時折大粒の雨が落ちてくる。稲刈りは天候変化に悩まされた。雨天では、機械作業も出来ず、手刈り体験はあきらめざるを得ない。11年目にしてはじめての作業中止となった。これも自然を相手にする農業、米作りの難しさである。

連合中越矢島議長のあいさつ、各協賛団体のあいさつ後、5月に植えた田んぼを全参加者で見学した。毎年田植えから稲刈りまでの作

サラリーマン川柳(1人だけ 笑わぬ部下が いる不安) (寝返って 雲竜型に なる女房)

雲竜型に なる女房

(会議中 考え深げに

実は寝て) (手間省く

はずがかえって 仕事増え)

見附市[市長・市議]選挙 連合推薦候補紹介

市長候補
久住時男(現・無所属)60歳

市議会議員候補
井上慶輔(現・民主党)74歳
佐々木志津子(現・無所属)57歳

公示日 10月17日(日)
投開票日 10月24日(日)

猛暑・炎天下の作物管理は非常に過酷で大変だったはずだ。田んぼは倒伏も少なく、管理の良さに感心した。刈り取る予定だった田んぼを背に全員で記念撮影し集落センターへ移動。春に持ち帰つ



業と管理をお願いしている矢尾板さんから「今年は何と言ってもこの猛暑にどう対応するかであった。幸いこは、水が豊富にあるが例年以上にその管理に非常に苦労した」などの話がなされた。

第61回地協委員会 当面の諸活動を確認

連合中越は、第61回地協委員会を9月17日(金)18時30分から開催し、一般活動報告ならびに総会までの諸活動等について審議・確認された。

たバケツ稲が届くはずだ。しかし届いたバケツは空バケツのみ。猛暑で全滅した模様だ。(後日、1バケツ生存が判明)

集落センターで学習クイズを実施。夏井さん(食とみどり市民会)からクイズ形式の学習を1時間。難しい問題がたくさんある中で85点以上の5人(大人1・子ども4)に表彰状と記念品が手渡された。最後は、トン汁とおにぎりを食し、アジア・アフリカ救援米運動を通じた農業・食料・環境問題について認識を深める取り組みとなった。

明治33年、西蒲味方村に生まれ、京都大学総長をつとめた平澤興博士。脳の研究で世界的権威として活躍され、1994年(平成6年)に他界されました。博士は「いい加減でなく、真似ではなく、私の40年にわたる懸命な脳の研究の結果と40年にわたる大学における真剣な教育の経験から到達した一つの結論」として1973年(昭和48年)「家庭教育五訓」を示しました。40年近く経過した現代の家庭教育にもヒントとなりそうです。

▼一、親は、まず、くらしを誠実に親がいいかげんなくらし、ごまかしたくらしをしていながら、子どもにだけ、よい習慣や学びを求めてもだめです。誠実なくらしとは、自分の職

台)について、連合発足20年を振り返り、出来た課題・出ていない課題、あるいは連合評価委員会最終報告



地協委員会前には、ミニ講座として連合新潟齊藤事務局長が、「働くことを軸とする安心社会に向けて(組織討議のためのたたき

は、冒頭矢島議長から「今求められるのは地域の中で働く人がともに将来へ心配なく暮らせる社会づくりだ。ライフサポートセンターの位置づけも高まっている。地域に顔の見える連合運動への協力を引き続き願いたい」旨挨拶がなされた。

で「連合はすべての労働者のための運動を推進すべき、社会の不条理に立ち向うべき」との指摘や組合員や地域からの信頼される運動であったのか等たたき台の考え方と課題が説明された。

事務局長からは、60回地協委員会以降の諸活動、見附市長・市議選挙推薦および小千谷市長選挙推薦等について報告がされ、拍手で承認。また、労働組合結成として、TDKラムダ労組が紹介され、奥口委員長から連帯の挨拶がなされた。続く審議事項は、第20回連合中越年次総会までの諸活動、小千谷・北魚沼・南魚沼・十日町ライフサポートセンター(LSC)が、10月期からながおかLSCのサテライト事務所となる件等について提案、承認された。



事務局次長 中村 正人

業や仕事を、まじめに心をこめてすることです▼

《一、毎日・毎日学び続ける》子どもに無理な注文をしないこと、楽しく学び続けさせるためには我慢や工夫が必要で。毎日、学びを続けることでよい習慣づくりになります▼《二、学びは、よい習慣づくり》学習の習慣が本身に身につけば、よい習慣づくりのようになります▼《三、習慣づくりは、人づくり》子どもにとつて、生活と学びは不即不離、学びのよい習慣も、生活のよい習慣も、人間づくりにつながります▼《四、人づくりは、人生づくり》我慢や工夫をくり返し、生活と学びの習慣が身に付いて、成長すれば本当の望ましい人生が与えられ

サラリーマン川柳 (同期会 あれそれこれで通じてる)

(ケイタイの機能に知能おいつかず)

(カーナビで出世コースを検索中)

(安定所何度行っても不安定)



連合新潟20周年ユースラリー開催

“次の世代”団結し、今後の活動へ

大運動会で地協や産別問わず交流

9月23日から24日まで湯沢町にて「連合新潟20周年ユースラリー」が開催された。連合新潟結成20周年を記念して、毎年開催されているユースラリーよりも参加規模を大きくし、連合新潟青年委員会が企画。今回は県内の約150人が参加した。

23日は「大運動会」が行われ、地協や産別に関係なく、チーム編成がされた。13時30分に開会され、選手宣誓の後、石塚実行委員長あいさつ、来賓として連合新潟の斉藤事務局長があいさつされた後、準備体操を行った。

チーム内で自己紹介の際にはまだ、口数の少なかつた参加者たちも、11人12脚、ガチリレーなど多数の競技が行われる中で、チームを応援したり、団結が深まった。夕食懇親会では、チームごとの座席となり、互いに労をねぎらっていた。また、競技の結果発表が連合新潟江花会長から行われ、上位1から3位が表彰された。

懇親会では各地協の名産や銘酒を持ち寄り、紹介がされ、同じ県内にいるながらも初めて参加者たちは驚いていた。

24日は連合新潟江花会長より「意外と身」が活用しながら説明された。参加者の中には、連合活動に関わったのはこのユースラリーが初めての人も20人くらいいた。

また、講演会「EPOC」の活動にみる、これからのリーダーシップとチーム運営」と題し、羽仁カンタさんを講師に迎え、「ごみゼロナビゲーション」の活動や「強いチームをつくるリーダーの役割は何か？」等の話が合った。

今回のユースラリーを通し、「次の世代」として、地協活動や産別活動にさらに積極的に参加してほしい。



2010年度 ライフプランセミナー

…企業の方も是非ご聴講ください…

演題

多重債務に陥らないために

～社員・家族から被害者をださない～

講師

アドリテム司法書士法人
代表司法書士

外山 敦之(とやまあつし) 氏

主な役職
日本司法書士会連合会消費者問題対策部委員
新潟県司法書士会常任理事

主な著書
『借入民事再生の実務』、『クレサラ・ヤミ金事件処理の手引き』、『実務のための新貸金業法』(民事法研究会・共著)

日時

10月29日(金)

18:00 開会(17:45 開場)

会場

アトリウム長岡 イベントホール

(長岡市弓町1-5-1)

参加費 無料

どなたでも参加いただけます

参加申込

事務局まで電話もしくは
FAXでお申し込みください
10月19日〆切(募集定員60名)

※FAXの場合は、お名前・人数・連絡先等を記入のうえお申込みください

お問合せ

長岡地区労働者福祉協議会(労働金庫・総合生協・連合中越)
事務局:連合中越(TEL 0258-24-0515・FAX 0258-24-8930)

本年6月18日、総量規制を含む改正貸金業法が完全施行となりました。いま、借入件数が5件以上の多重債務者は、国内で200万人を超えているともいわれています。そして、その多くは返済困難に陥り、借金のための借金を重ねている傾向にあるとの分析です。また、債務に苦にした末の自殺、夜逃げも多々あるようです。

このような社会状況に対して、社員とその家族、知人を含め広く市民から被害者を出さないことを願い、講演会を開催します。

- 共催 長岡地区労働者福祉協議会、(財)長岡市労働者福祉サービスセンター
- 後援 長岡市、長岡商工会議所、長岡市消費者協会、労働金庫長岡支店・長岡北支店、総合生協中越支局・中越センター、ながおかライフサポートセンター、連合中越地域協議会

連合十日町支部だより

●クリーンキャンペーンを実施●



9月11日(土)
午前9時より、毎年恒例のクリーン

キャンペーンを開催いたしました。

連合組合員、家族、ジャスコ十日町店長など妻有ショッピングセンター同友店会の皆さんら約60人が参加し、約45分ほど下島バイパス沿いのゴミ拾いを行いました。

史上最暑の猛暑が続くの中での作業参加者に感謝申し上げます。